



京都大学

「グローバル時代のポストアーバン戦略に向けて」



教員

教授	山田 忠史
名誉教授	小林 潔司
客員教授	堀田 治
客員教授	筒井 祐治
客員教授	鹿子木 靖

目的

ポストアーバン社会が出現しつつあります。グローバル化された高度知識社会では、知識や技術が目まぐるしく変化し、せっかく獲得した知識が時代おくれになるスピードが非常に早くなっています。E-コマースやテレコミュティングの進展の結果、先端都市は生産都市から消費都市へ変貌を遂げようとしています。人々の新しい生き方が模索される中で、時間の忙しさに対抗して学習の時間を獲得し、新しいライフパターンをどのように実現するかが求められるようになってきました。本講座では、このようなポストアーバン社会の到来を見据えて、①世界経済のグローバル化とアジア地域のサプライチェーンの進化の中で、都市・地域のグローバルな定位置を確保するためのロジスティクス戦略、②インバウンドツーリズムを基軸とした都市・地域の広域連携戦略、③スーパーメガリジョン形成とコンパクト化した都市圏戦略、④起業家育成とソーシャルキャピタル投資を通じた地域振興戦略について、実際の実例を踏まえながら研究・普及活動等を行い、都市・地域マネジメントに携わる実務者・技術者・研究者（産・官・学）の知識の共有及びコラボレーションを図るとともに、この分野を支えるに相応しい幅広い視野を持った人材の育成を行います。

活動成果の紹介

1) アジア経済統合と国際ロジスティックシステム戦略

アジア地域は世界の半分の人口と経済規模を有する躍動的な地域です。このようなアジア地域の経済発展を国際的ロジスティックシステムが支えています。国際ロジスティックシステムは、規模の経済性や複雑に彩られた世界であり、その運営のガバナンスを達成するためには極めて高度な計画・マネジメント戦略が必要となります。本講座では、港湾物流高度化寄附講座と連携を図りながら、世界規模で展開する国際ロジスティックシステム戦略に関する分析や政策提言を行える人材の育成を目指します。

2) ポストアーバン社会における都市・地域政策

ポストアーバン社会では、都市・地域がグローバル経済と直結しており、都市・地域政策の進展にあたっては極めて多様な経済主体やステークホルダーと連携を図りながら、戦略的な都市・地域政策を推進していくことが重要です。そのためには、都市・地域システムのグローバルな変化に関する的確な把握に努めるとともに、単一の部門やシステムを越えた総合的な戦略のコーディネーションが必要になります。そのために、本講座では官民協同まちづくり実践寄附講座と連携を図りながら、多様なステークホルダーと連携を図りながら地域振興やまちづくりを進展させることができる人材の育成を目指します。



京都大学

「グローバル時代のポストアーバン戦略に向けて」

教員紹介



山田忠史 教授

専門分野
ロジスティクス、交通計画

担当科目
Transportation and Logistics Management、プロジェクト・オペレーションズマネジメントワークショップ / International Project Management Workshop

Message
貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



堀田 治 客員教授

専門分野
港湾政策
担当科目
サステナブルサプライチェーン

Message
四方を海に開かれ、資源の乏しい日本において、貿易量の99.5%を担う港湾は我が国経済の生命線。コロナ禍や国際紛争により顕在化した経済安全保障に対応するための「国際コンテナ・バルク戦略港湾政策」、ドライバー不足等に起因するいわゆる「物流の2024問題」に対応する「次世代高規格ユニットロードターミナル」や「AIターミナル・サイバーポートの港湾DX」、2050年カーボンニュートラル実現のための「カーボンニュートラルポート等の港湾GX」、切迫・頻発する大規模自然災害に対応するための「防災・減災・国土強靭化」。港湾行政を通じて如何に社会的課題に対応していくのか、港湾政策の最前線を考える。



鹿子木 靖 客員教授

専門分野
都市計画、まちづくり、官民連携
担当科目
都市・地域マネジメント

Message
少子高齢化、人口減少、地球規模の環境問題への対応など都市の課題が複雑化する中、都市の住民がいかにしたら主体的に自己の望む暮らしを実現できるか考えてまいりたい。



小林潔司 名誉教授

専門分野
計画・マネジメント論

Message
地域の現場から、起業への働きかけ、ビジネスモデルの作成、コミュニティ・まちづくり、地域コーディネーションの実践を通じて、地域創生について考察します。地域創生デザインは、個人の人生設計を通じて地域づくりに貢献できるような仕掛けをデザインする現場です。起業塾の運営、ビジネスモデルの蓄積と発展を通じて、都市・地域マネジメント客員講座の発展に貢献します。



筒井祐治 客員教授

専門分野
都市計画
担当科目
都市・地域マネジメント

Message
人口の減少、高齢化など、都市を取り巻く環境が大きく変化してきている中、どのように都市/地域の持続性を高めていくかが大きな課題である。公的・民間主体、住民等の適切な連携のもと、どのように持続可能な都市、地域を実現していくべきか、考えて参りたい。



名古屋港



横浜港

研究会

・建設マネジメント勉強会

都市・地域マネジメントに関する様々な問題の適切な政策論、マネジメント方法論について議論。

・MARG(Margical Area Research Group)

地域の起業を主たるテーマに掲げる、大学、企業、住民、行政、NPO関係者から構成される研究・教育プラットフォーム。二地域就労、パブリックリレーションズ、起業的アプローチ等の観点から研究・教育活動を展開。

・AISC(Asia Inclusive Smart Cities)